



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL <https://www.ahresty.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 成家 秀樹 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	37,996	14.7	227	—	357	—	452	—
2023年3月期第1四半期	33,113	22.1	△553	—	△424	—	△649	—

(注) 1. 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,662百万円 (△25.1%) 2023年3月期第1四半期 2,218百万円 (60.8%)

(参考) EBITDA 2024年3月期第1四半期 3,309百万円 (30.9%) 2023年3月期第1四半期 2,529百万円 (9.0%)

(※) EBITDA=営業損益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.44	17.33
2023年3月期第1四半期	△25.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	137,579	58,099	42.1
2023年3月期	137,069	56,649	41.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 57,981百万円 2023年3月期 56,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	74,700	12.3	400	—	100	—	100	—	3.86
通期	150,000	6.4	2,200	—	1,600	—	1,100	—	42.43

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	26,076,717株	2023年3月期	26,076,717株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	273,342株	2023年3月期	149,822株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	25,911,898株	2023年3月期1Q	25,826,273株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍による経済社会活動への制約が解消され、半導体不足の緩和も進んだものの、高金利・高インフレの下で停滞感が強まる状況となりました。米国経済は、急速な政策金利の引き上げ影響が経済全般に広がる一方、労働需給の引き締めからインフレも粘り強く、今年後半には景気後退に陥る見込となりました。中国経済については、経済再開に伴う需要急回復は既に息切れし、民間投資の弱さや不動産市況の調整長期化で景気の減速感が続いています。日本経済は、サービス中心の消費復調が続いているものの、米国の景気後退や物価高による賃上げ効果の減殺で下押しされ、引き続き緩やかなテンポの景気持ち直しが続く見込まれています。こうした主要各国の経済状況に加え、ロシアのウクライナ進行長期化や米中対立を背景としたグローバルでの地政学リスクも高まっており、先行きが見通しにくい経営環境が続いています。

このような経済状況の中、当社グループではラインの自動化等による生産体制の効率化や社内の遊休設備の活用等による設備投資の抑制を引き続き進める一方、電動車部品に強い顧客との新規取引や取引拡大にも取り組んで参りました。アジアにおいては中国ゼロコロナ政策解除に伴う感染拡大や中国市場における日系自動車会社の現地メーカーとの競争激化等の影響を受けて苦戦を強いられましたが、全体的には自動車生産における半導体不足の緩和が世界的に進んだことで受注量が回復したことにより、営業損益、経常損益、当期損益とも黒字を計上することとなりました。

当社グループでは、当連結会計年度より2030年を目標年度とする長期経営計画である10年ビジネスプランと、その最初の3年間のマイルストーンとなる2224中期経営計画を推進しております。2224中期経営計画においては自動車の電動化の加速やカーボンニュートラルなどの外部環境変化を踏まえ、「低コストで生産性の高いものづくりの確立」「生産時のCO₂排出量の削減」「電動車向け部品中心の事業ポートフォリオへの転換」を戦略の柱に据えて、売上高の確保、生産性の向上、稼ぐ力の強化に取り組んでおります。加えて今年6月には10年ビジネスプランの財務戦略を策定し、既に公表済の収益目標に加え、自己資本比率40%、配当性向35%、設備投資1,400億円、ROE 9%達成を10年ビジネスプラン期間における4本柱の財務目標として掲げております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高37,996百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益227百万円（前年同四半期は553百万円の営業損失）、経常利益357百万円（前年同四半期は424百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益452百万円（前年同四半期は649百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、半導体供給の安定化により自動車の生産が回復した影響で受注量が回復し売上高は15,459百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。収益面においては、エネルギー価格等の上昇はあったものの、受注量回復に伴う生産回復の影響により、セグメント利益42百万円（前年同四半期はセグメント損失554百万円）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場では、半導体供給の安定化により自動車の生産が回復した影響で受注量が回復し売上高は11,307百万円（前年同四半期比35.3%増）となりました。収益面においては、受注量回復に伴う生産回復の影響により、セグメント利益405百万円（前年同四半期はセグメント損失441百万円）となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

アジア自動車市場では、インドの主要顧客の量産が開始し増収したものの、中国ゼロコロナ政策解除に伴う感染拡大や中国市場における日系自動車会社の現地メーカーとの競争激化等の影響を受けて、売上高は7,707百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。収益面においては、受注量減少に伴う生産減少と一部製品の生産が安定しないことに伴うコスト高の影響により、セグメント損失617百万円（前年同四半期はセグメント利益340百万円）となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、自動車関連の納入が減少し販売重量は前年同期比5.0%減となり、売上高は前第1四半期のウクライナ紛争を起因とした高値から、市況が下落し1,842百万円（前年同四半期比12.3%減）となりました。収益面においては、売上減の影響で、セグメント利益55百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件等の受注が増加し、売上高は1,679百万円（前年同四半期比44.1%増）となりました。収益面においては、セグメント利益は174百万円（前年同四半期比93.3%増）となり、個別受注物件による採算性の相違はありますが安定的な利益を確保しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は137,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ510百万円の増加となりました。流動資産は59,636百万円で、前連結会計年度末に比べ1,663百万円減少となり、その主な要因は、売上債権が1,712百万円、その他に含まれる前払費用が261百万円増加した一方、現金及び預金が3,443百万円、棚卸資産が471百万円減少したことによるものです。固定資産は77,943百万円で、前連結会計年度末に比べ2,174百万円増加となり、その主な要因は、有形固定資産が1,608百万円、投資有価証券が72百万円、その他に含まれる繰延税金資産が399百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は79,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ939百万円の減少となりました。流動負債は57,291百万円で、前連結会計年度末に比べ1,985百万円減少となり、その主な要因は、仕入債務が1,367百万円、賞与引当金が641百万円増加した一方、短期借入金が3,947百万円減少したことによるものです。固定負債は22,188百万円で、前連結会計年度末に比べ1,046百万円増加となり、その主な要因は、長期借入金が1,038百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、58,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,449百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が323百万円、為替換算調整勘定が1,130百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末41.24%から当第1四半期連結会計期間末42.14%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、2023年5月18日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,991	9,548
受取手形、売掛金及び契約資産	27,140	29,600
電子記録債権	4,116	3,369
商品及び製品	6,304	6,164
仕掛品	5,637	5,562
原材料及び貯蔵品	3,462	3,206
その他	1,823	2,371
貸倒引当金	△176	△185
流動資産合計	61,299	59,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,521	13,749
機械装置及び運搬具（純額）	36,362	36,367
土地	5,076	5,106
建設仮勘定	7,221	8,679
その他（純額）	7,721	7,609
有形固定資産合計	69,903	71,511
無形固定資産	1,642	1,639
投資その他の資産		
投資有価証券	1,261	1,333
その他	2,978	3,474
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,223	4,792
固定資産合計	75,769	77,943
資産合計	137,069	137,579
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,670	12,683
電子記録債務	9,144	9,498
短期借入金	18,599	14,651
1年内返済予定の長期借入金	10,600	9,731
未払法人税等	147	171
賞与引当金	1,530	2,172
製品保証引当金	53	109
その他	7,532	8,273
流動負債合計	59,277	57,291
固定負債		
長期借入金	14,319	15,357
長期未払金	123	123
退職給付に係る負債	3,305	3,330
その他	3,393	3,376
固定負債合計	21,142	22,188
負債合計	80,419	79,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,964	6,964
資本剰余金	10,206	10,207
利益剰余金	30,454	30,776
自己株式	△58	△138
株主資本合計	47,566	47,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538	592
為替換算調整勘定	9,026	10,157
退職給付に係る調整累計額	△604	△578
その他の包括利益累計額合計	8,961	10,171
新株予約権	121	117
純資産合計	56,649	58,099
負債純資産合計	137,069	137,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	33,113	37,996
売上原価	31,096	34,968
売上総利益	2,017	3,027
販売費及び一般管理費	2,570	2,799
営業利益又は営業損失(△)	△553	227
営業外収益		
受取利息	9	27
受取配当金	23	24
為替差益	111	213
スクラップ売却益	67	48
雇用調整助成金	61	—
その他	10	23
営業外収益合計	284	338
営業外費用		
支払利息	152	191
その他	2	17
営業外費用合計	155	208
経常利益又は経常損失(△)	△424	357
特別利益		
固定資産売却益	21	5
補助金収入	23	27
特別利益合計	45	33
特別損失		
固定資産除売却損	35	53
特別損失合計	35	53
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△414	337
法人税、住民税及び事業税	291	261
法人税等調整額	△56	△376
法人税等合計	234	△115
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△649	452
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△649	452

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△649	452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	53
為替換算調整勘定	2,945	1,130
退職給付に係る調整額	23	25
その他の包括利益合計	2,868	1,210
四半期包括利益	2,218	1,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,218	1,662
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年4月27日開催の取締役会において自己株式の取得（取得期間2023年5月19日～2023年12月31日）を決議し、当第1四半期連結累計期間においては自己株式83百万円（129,800株）の取得を実施いたしました。

(別途積立金の取り崩し)

当社は、2023年5月18日開催の取締役会において今後の経営環境の変化に対応した株主還元、機動的な資本政策を可能とすることを目的に別途積立金の取り崩しを決議し、同日付で別途積立金2,000百万円を取り崩し、繰越利益剰余金の欠損補填に充当いたしました。

なお、株主資本の合計額への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	13,016	8,357	8,473	2,100	1,165	33,113
外部顧客への売上高	13,016	8,357	8,473	2,100	1,165	33,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	607	—	772	314	2	1,696
計	13,624	8,357	9,245	2,415	1,167	34,810
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	△554	△441	340	82	90	△482

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△482
セグメント間取引消去	△70
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△553

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	15,459	11,307	7,707	1,842	1,679	37,996
外部顧客への売上高	15,459	11,307	7,707	1,842	1,679	37,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	787	0	575	586	19	1,969
計	16,247	11,307	8,283	2,429	1,698	39,965
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	42	405	△617	55	174	59

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	59
セグメント間取引消去	167
四半期連結損益計算書の営業利益	227

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。